回覧												

垂水市農林技術協会だより

第3号：令和７年6月１日発行

発行・事務局：垂水市農林課
問合せ先：32-1224（直通）

【垂水市公式LINEアカウント】

【垂水市農林技術協会だより】

● 内　容

・経営所得安定対策等交付金に係る現地確認について
・令和７年度「農業基礎講座」の開催について
・令和７年度「農業簿記基礎講座」の開催について
・農業基礎講座及び農業簿記基礎講座の研修申込書
・６月は「食育月間」です
・台風等の自然災害への対策に努めましょう
・農作業中の熱中症に注意！

経営所得安定対策等交付金に係る現地確認について

〇経営所得安定対策等交付金（転作の交付金）の実施状況を確認するための夏作分の現地調査を7月から8月にかけて実施します。

〇農林課の職員が、水田や申請農地の作付状況の調査を行います。

現地確認の際は、職員がほ場へ立ち入ることがありますので、あらかじめご了承ください。
皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

令和７年度「農業基礎講座」が開催されます

令和7年度農業基礎講座についてご案内いたします。参加希望がございましたら、別紙「研修申込書」を農林課農政係へご提出ください。

1 目的

就農して間もない農業者や就農に向け準備をしている方が、農業に関する基礎的な知識を身につけ、今後の農業経営に生かせるよう、農業基礎講座を開催します。

2 対象

（１）就農５年以内の新規就農者及び配偶者
（２）管内で研修を行っている就農予定者
（３）法人等の就業者
（４）その他、市町村からの推薦者等
なお、参加申込者多数の場合には、就農１～２年の方を優先します。

3 会場

大隅地域振興局別館２階　大会議室
（鹿屋市打馬２丁目16番６号　　電話：0994-52-2143）

4 日時及び内容

回	日　時	内　　容
第１回	６月17日（火） 午後１時30分から 午後４時まで	○　開講式 ○　大隅地域の農業の概要 ○　先輩農業者の講話（指導農業士、農業青年）
第２回	６月30日（月） 午後１時30分から 午後４時まで	○　土づくり、肥料・施肥技術の基礎 ○　農作業事故防止・農業機械
第３回	７月４日（金） 午後１時30分から 午後４時まで	○　病害虫防除、農薬取扱いの基礎【耕種部門】 ○　牛の飼養管理、飼料栽培の基礎【畜産部門】 ※部門別に開催します
第４回	７月９日（水） 午後１時30分から 午後４時まで	○　農業経営の基礎、制度資金活用の概要 ○　閉講式

※募集人員：30名程度

5 参加申込について

・参加希望者は、垂水市農林課農政係（新規就農担当）に参加申込書を提出。
・垂水市農林課農政係にて、参加申込書をとりまとめて、６月10日（火）までに大隅地域振興局農政普及課（経営普及係）に提出。

6 その他

・研修内容についてのお問い合わせは、大隅地域振興局農政普及課経営普及係まで（担当：吉田　TEL：0994-52-2143）ご連絡ください。

令和７年度「農業簿記基礎講座」が開催されます

令和7年度農業簿記基礎講座についてご案内いたします。参加希望がございましたら、別紙「研修申込書」を農林課農政係へご提出ください。

1 目的

簿記に関する基礎的な知識を身につけ、記帳を通して経営管理能力を高めるため、簿記基礎研修を開催します。

2 対象

（１）就農５年以内の新規就農者及び配偶者
（２）管内で研修を行っている就農予定者
（３）青年農業者、認定農業者　等
なお、参加申込者多数の場合には、就農１～２年の方を優先します。

3 会場

大隅地域振興局別館２階　大会議室
（鹿屋市打馬２丁目16番６号　　電話：0994-52-2143）

4 日時及び内容

回	日　時	内　　容
第１回	７月24日（木） 午後１時30分から 午後４時まで	農業簿記の基礎、パソコン簿記入力演習
第２回	７月25日（金） 午後１時30分から 午後４時まで	パソコン簿記入力演習

※募集人員：30名程度

（注）参加者はノートパソコンを持参してください。
持参できない場合は、必ず申込書に記載してください。

5 出席申込みについて

・参加希望者は、垂水市農林課農政係（新規就農担当）に参加申込書を提出。
・垂水市農林課農政係にて、参加申込書をとりまとめて、6月10日（火）までに大隅地域振興局農政普及課（経営普及係）に提出。

6 その他

・研修内容についてのお問い合わせは、大隅地域振興局農政普及課経営普及係まで（担当：上村　TEL：0994-52-2143）ご連絡ください。

研修申込書

申込者　**氏　名**

住　所

電　話

経営部門(　　)　基幹作物(　　)

【農業基礎講座】

参加者氏名	第１回 （6/17）	第２回 （6/30）	第３回 （7/4）	第４回 （7/9）

※　各回ごとに参加・不参加を「○、×」で記入してください。

【農業簿記基礎講座】

参加者氏名	第１回 （7/24）※1	第２回 （7/25）※1	パソコンの持参 ※2

※1　各回ごとに参加・不参加を「○、×」で記入してください。

※2　パソコンを持参できる場合は「○」、持参できない場合は「×」で記入してください。

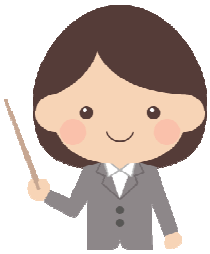
6月は「食育月間」です

毎年6月は、国が定める「食育月間」です。本市は、「第3次垂水市食育・地産地消推進計画」に基づき、食育の取組を進めています。子どもも大人も健康でイキイキと暮らすために、できることから「食育」に取り組んでみましょう。

A．様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。特に子どもたちに対する食育は「生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるべきもの」と位置付けられています。

～できることから始めよう！毎日できる食育！～

- 家族や友人と楽しく食卓を囲む。
- 「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをする。
- はしの正しい持ち方や食器の正しい並べ方を身に付ける。
- 毎日朝ごはんを食べる。



垂水市の小学生・中学生の朝食欠食状況（令和６年度調査結果）

・垂水小5・中2・・・・・・・・・2％（全国：2％　※小6・中3）

簡単！　おすすめ！　朝ごはん！

今回の食材
★納豆★

納豆キムチごはん　　調理時間　2分

① 納豆、キムチ、ねぎ（小口切り）、ごま油、を混ぜておく。
② お茶碗に温かいご飯をよそう。
③ ②の上に①をのせ、真ん中に卵黄をのせる。
★青じそ、かつお節、海苔、ラー油等をかけても美味しいです。

納豆トースト　　調理時間　5分

① 食パンにマヨネーズをぬる。
② 納豆に付属のタレを混ぜ①にのせて、ピザ用チーズをかけてトースターでこんがり焼き目がつくまで焼く。
★お好みで、最後にもみ海苔をかけると更に美味しいです。

台風等の自然災害への対策に努めましょう

農業用ハウスを台風等の災害から守るため、気象情報を注視し、日頃からの点検・保守管理を実施しましょう。また、チェックリストを参考に被害防止に努めましょう。

① 事前の対策

- 谷樋や柱等の腐食・サビ、留め金具の緩み、被覆材や出入り口を点検し、必要な補修を行う。ハウス内部に斜材等を設置し、構造強化を行う。
- ハウス周辺の地面は、雨水の滞留やハウス内侵入を防ぐよう整備する。谷樋、縦樋及び排水溝は雨水を速やかに排除できるよう清掃する。
- 停電が発生した場合に備え、天窓・側窓の手動換気やカーテンの手動開閉について手順を確認し、操作器具や足場を準備しておく。

② 直前の対策

- 飛来物による被覆材の損傷を防ぐため、周辺は清掃し片付けておく。
- サイド部や谷部等の換気部は完全に締めておく。出入口は補強や戸締まりを実施する。
- 停電が発生した場合に備え、寒冷紗等の設置で高温を防止し、かん水に用いる水は必要量を貯水しておく。
- 強風時は、開口部や吸気口を塞いで換気扇を排気運転し、減圧する。
- 倒壊の危険がある強風が予想されるときは、被覆材を除去しておく。

③ 台風襲来前のチェックリスト

情報収集	最新の気象情報、警報、注意報を常にチェックしていますか。
周辺整備	ハウス周辺から飛来が予想されるものを片付けましたか。
	燃料タンクはしっかりと固定されていますか。
	施設周辺の排水溝やハウスの谷樋等のゴミは取り除きましたか。
停電対策	タンクにかん水用水を貯水しましたか。
	自動換気の手動開閉の操作器具や足場の準備はできていますか。
	（発電機を持っている場合）非常用発電機を、環境制御装置に接続しましたか。
破損・倒壊対策	被覆材のたるみや破れはありませんか。
	換気部（サイド部、谷部）、被覆材の隙間等の風の吹き込み口となる箇所はありませんか。
	ハウスバンド、被覆材の留め金具に緩みはありませんか。
	ブレースや筋かいの留め金具に緩みはありませんか。
	基礎部、接続部分、谷樋・柱に腐食・サビはありませんか。
	ハウスの出入り口の補強や戸締まりはしましたか。
	（換気扇のあるハウス）換気扇はまわして排気し、ハウス内を減圧していますか。

農作業中の熱中症に注意！

梅雨明け以降の急激な気温上昇により、農作業中の熱中症による健康被害の危険性が極めて高くなると予測されます。危険な暑さから自分と自分の周りの人の命を守ってください！！

※熱中症の予防には、「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です！

［暑さをしのぐ服装］

○帽子の着用

○通気性の良い衣類の着用

［水分補給］

○こまめな水分補給

○気温の高い時間は作業をしない

○こまめな休憩

［熱中症になりにくい室内環境］

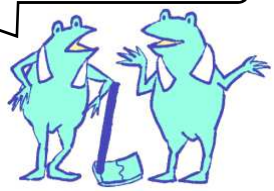
○ハウスや畜舎等の換気

○遮光や断熱材の施工等による温度上昇の防止

○農作業中の熱中症対策について・・・

体が暑さに慣れていない、６月や梅雨の晴れ間などの時期から、農作業中の熱中症による被害が増えてきます。熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です。

熱中症対策をチェック

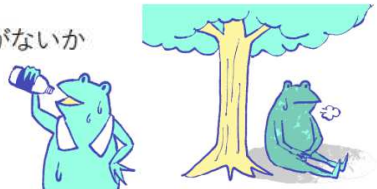


☑ **高温時の作業は避けましょう**

一般的に70歳以上の方は、のどのかわきや気温の上昇を感じづらくなります。
日中の気温の高い時間帯は外して作業しましょう。

☑ **単独作業は避けましょう**

なるべく2人以上で作業し、時間を決めて声をかけあったり、異常がないか確認しあうようにしましょう。



☑ **20分おきに休憩＆水分補給しましょう**

涼しい日陰などで作業着を脱ぎ、体温を下げましょう。
のどがかわいていなくても、20分おきに毎回コップ１～２杯以上を目安に水分補給しましょう。

農水省ホームページの熱中症対策情報はこちら→